

登載依頼
------

有明海自動車航送船事業の業務状況を説明する書類の公表（公告）

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定により、有明海自動車航送船事業の業務状況を説明する書類を次のとおり公表する。

平成14年11月29日

有明海自動車航送船組合

管理者 熊本県知事 潮 谷 義 子

1 有明海自動車航送船事業の平成14年度上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）における業務の状況は、次のとおりである。

(1) 事業の概要

当期における輸送実績は、航送車両数 251,259 台、車両収入 565,634,480 円、同乗旅客数 348,525 人、同乗旅客収入 112,123,380 円、一般旅客数 48,367 人、一般旅客収入 17,304,830 円である。

これを前年度同期と比較すると、航送車両数 4,636 台（1.8%）の減、車両収入 15,701,790 円（2.7%）の減、同乗旅客数 13,654 人（3.8%）の減、同乗旅客収入 4,287,120 円（3.7%）の減、一般旅客数 11,286 人（18.9%）の減、一般旅客収入 7,626,400 円（30.6%）の減となる。

(2) 職員数（平成14年9月30日現在）

一般職員 24 人

船舶職員 58 人

合 計 82 人

(3) 条例、規則の制定改廃

なし

(4) 議会議決事項

平成14年8月30日招集の有明海自動車航送船組會議会第2回定例会に上程し、同日可決された議案は、次のとおりである。

第1号議案 建設改良積立金の目的外使用について

第2号議案 平成13年度有明海自動車航送船事業会計決算の認定について

(5) 経理状況

ア 損益計算書 別表 1

イ 貸借対照表 別表 2

2 平成13年度有明海自動車航送船事業会計決算の概要

当年度は、経営健全化計画に基づく退職者不補充をはじめとする種々の人件費の圧縮、並びにこれまで以上の運航経費の節減に取り組むとともに、営業面においては、福岡方面からの集客を重点においた営業活動の展開や各種の運賃割引の設定等により、一航海当たり車両一台の増加を目指す「ワンアップ計画」の推進に努めた。

しかし、長期に及ぶ国内景気の低迷が続く中、輸送台数は減少傾向をたどり、また、旅客船業界においては海上運送法が一部改正されて、これまでの航送運賃等に関する規制が緩和されたことにより、航送運賃の割引競争が激化するなどして、営業実績は前年度を大きく下回る結果となった。

また、経営健全化計画に基づき運航の効率化を図るため、第7有明丸1隻を売却処分し、保有船舶を3隻とした。

当年度の事業収支は、事業収益が、1,374,915,422 円、事業費が 1,401,587,150 円で差引き 26,671,728 円の純損失となった。

ア 平成13年度決算報告書 別表 3

イ 平成13年度損益計算書 別表 4

ウ 平成13年度貸借対照表 別表 5

エ 平成13年度企業債及び一時借入金の概況 別表 6

オ 平成13年度固定資産明細書 別表 7

## 別表1

## 平成14年度有明海自動車航送事業上半期損益計算書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

単位：円

1	営業収益			
	(1) 運航収入	661,964,465		
	(2) 運航雑収入	<u>6,823,810</u>	668,788,275	
2	営業費用			
	(1) 一般管理費	2,175,532		
	(2) 運航管理費	382,596,102		
	(3) 運航管理費	<u>217,326,466</u>	<u>602,098,100</u>	
	営業利益			66,690,175
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及びひ配当金	4,836,518		
	(2) 雑収入	<u>1,391,873</u>	6,228,391	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	11,290,950		
	(2) 雑支出	<u>4,719,781</u>	<u>16,010,731</u>	
	経常利益			<u>△ 9,782,340</u>
	当期純利益			56,907,835
	前年度繰越欠損金			56,907,835
	当期未処分利益剰余金			<u>10,508,630</u>
				<u><u>46,399,205</u></u>